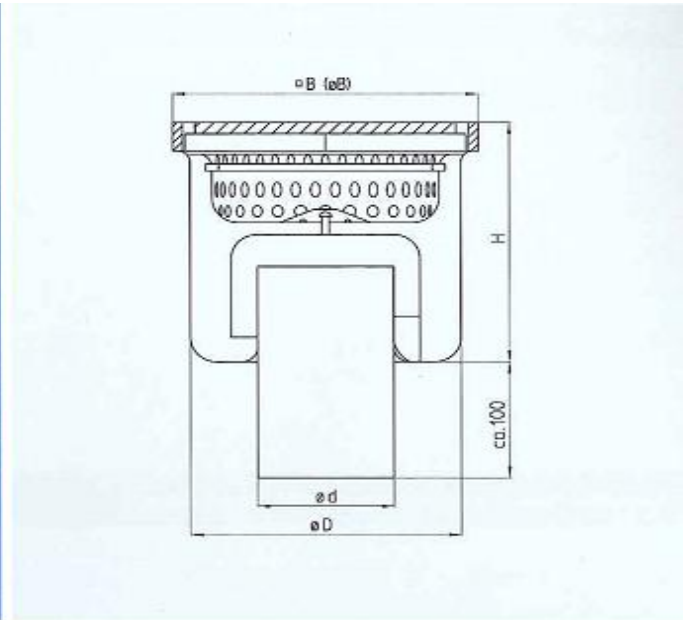


# ヴィーデマン-テクニック社製 排水枳





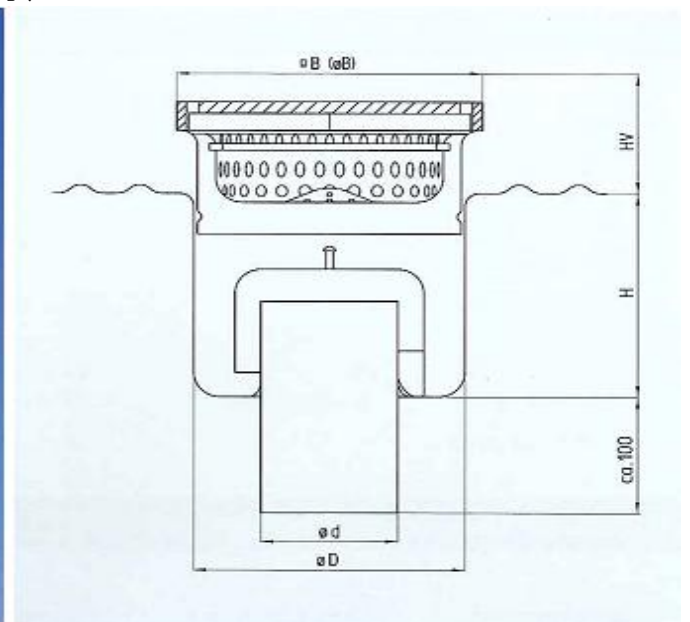
## タイプ:DRS-S (垂直排水)



モデル	$\square B(\text{mm})$	$\phi B(\text{mm})$	$\phi D(\text{mm})$	縁部板厚	縁部深さ	シーム
DRS-070-E-S	180	-	153	8	25	なし
DRS-070-RD-S	-	196	153	8	25	なし
DRS-100-E-S	246	-	218	8	25	なし
DRS-100-RD-S	-	270	218	8	25	なし
DRS-150-E-S	310	-	283	8	25	あり
DRS-150-RD-S	-	331	283	8	25	あり
DRS-200-E-S	410	-	356	10	40	あり
DRS-200-RD-S	-	410	356	10	40	あり

\* 垂直排水のモデルの中で最もスタンダードなタイプです。Φd (配管径), H (柵深さ), ゴミ受け深さ: ご要望に対応可能です。

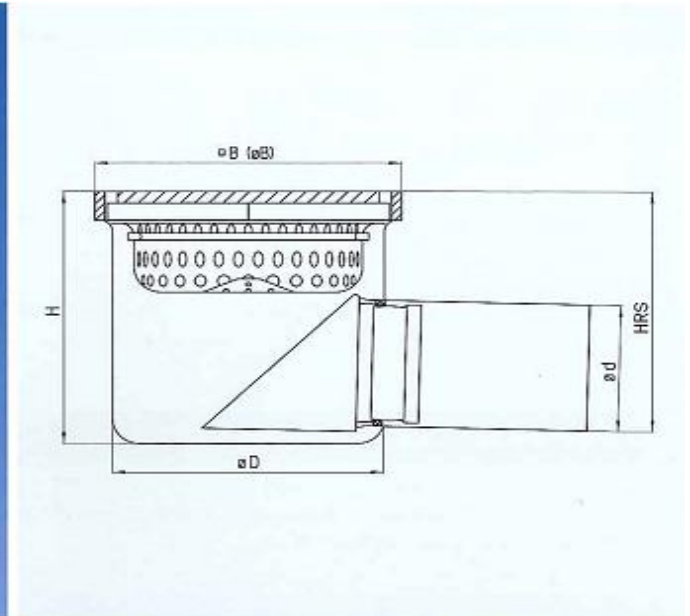
## タイプ:H-S (垂直排水・接着フランジ付)



モデル	$\square B(\text{mm})$	$\phi B(\text{mm})$	$\phi D(\text{mm})$	HV(mm)	縁部板厚	縁部深さ	シーム
H-070-E-S	180	-	153	60-80	8	25	なし
H-070-RD-S	-	196	153	60-80	8	25	なし
H-100-E-S	246	-	218	60-80	8	25	なし
H-100-RD-S	-	270	218	60-80	8	25	なし
H-150-E-S	310	-	283	60-80	8	25	あり
H-150-RD-S	-	331	283	60-80	8	25	あり

\* Φd (配管径), H (下部柵深さ), ゴミ受け深さ: ご要望に対応可能です。

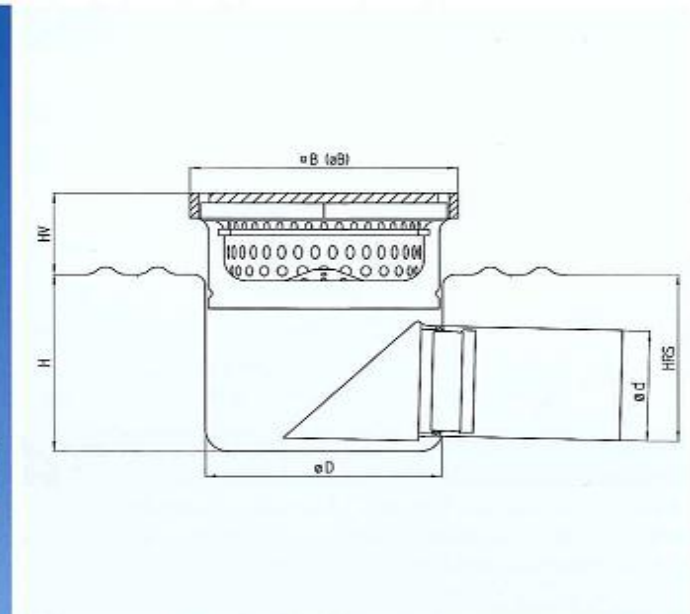
## タイプ:DRS-W (水平排水)



モデル	$\square B$ (mm)	$\phi B$ (mm)	$\phi D$ (mm)	縁部板厚	縁部深さ	シーム
DRS-070-E-W	180	-	153	8	25	なし
DRS-070-RD-W	-	196	153	8	25	なし
DRS-100-E-W	246	-	218	8	25	なし
DRS-100-RD-W	-	270	218	8	25	なし
DRS-150-E-W	310	-	283	8	25	あり
DRS-150-RD-W	-	331	283	8	25	あり
DRS-200-E-W	410	-	356	10	40	あり
DRS-200-RD-W	-	410	356	10	40	あり

\* 水平排水のモデルの中で最もスタンダードなタイプです。 $\phi d$  (配管径),  $H$  (柵深さ), ゴミ受け深さ: ご要望に対応可能です。

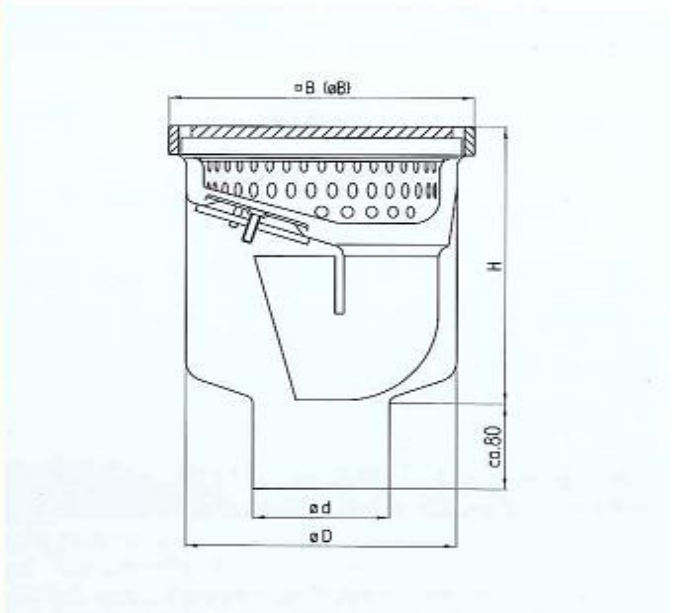
## タイプ:H-W (水平排水・接着フランジ付)



モデル	$\square B$ (mm)	$\phi B$ (mm)	$\phi D$ (mm)	HV(mm)	縁部板厚	縁部深さ	シーム
H-070-E-W	180	-	153	60-80	8	25	なし
H-070-RD-W	-	196	153	60-80	8	25	なし
H-100-E-W	246	-	218	60-80	8	25	なし
H-100-RD-W	-	270	218	60-80	8	25	なし
H-150-E-W	310	-	283	60-80	8	25	あり
H-150-RD-W	-	331	283	60-80	8	25	あり

\*  $\phi d$  (配管径),  $H$  (下部柵深さ), ゴミ受け深さ: ご要望に対応可能です。

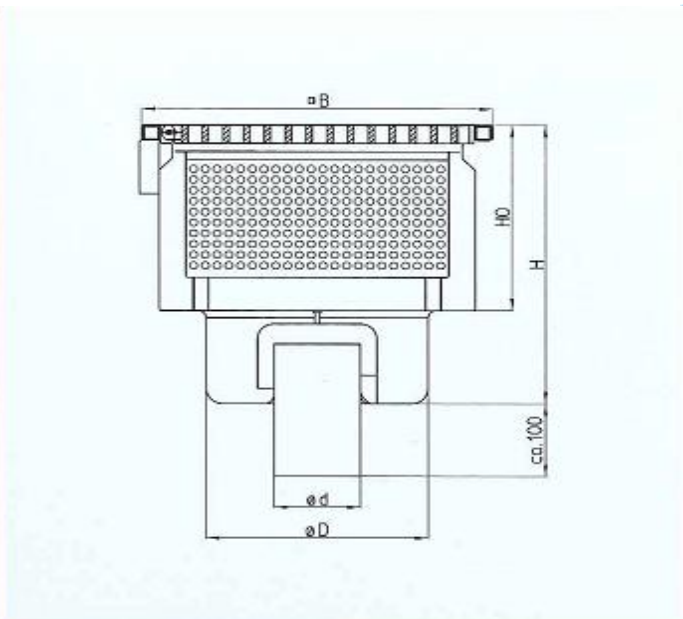
## タイプ:DRS-OPTI-S (垂直排水)



モデル	$\phi d$ (mm)	$\square B$ (mm)	$\phi B$ (mm)	$\phi D$ (mm)	ゴミ受け容量(ℓ)	流量(ℓ)	縁部板厚	縁部深さ
DRS-100-E-S	110	246	-	218	1.4	> 2.8	8	25
DRS-100-RD-S	110	-	270	218	1.4	> 2.8	8	25

- \* U字型トラップや点検口がある、衛生的な構造の集水枥です。
- \* U字型トラップ内に留まる水量は約0.9ℓと少なく、少量の水で洗い流すことができます。
- \* シームレスです。

## タイプ:75-E-S (垂直排水)

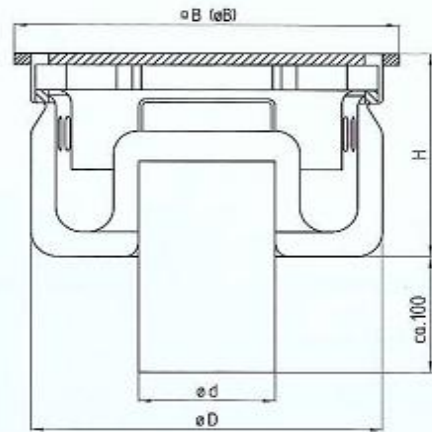


モデル	$\square B$ (mm)	$\phi D$ (mm)
75-400-E-S	447	283
75-600-E-S	647	356

- \*  $\phi d$  (配管径),  $H$  (枥深さ), ゴミ受け深さ: ご要望に対応可能です。



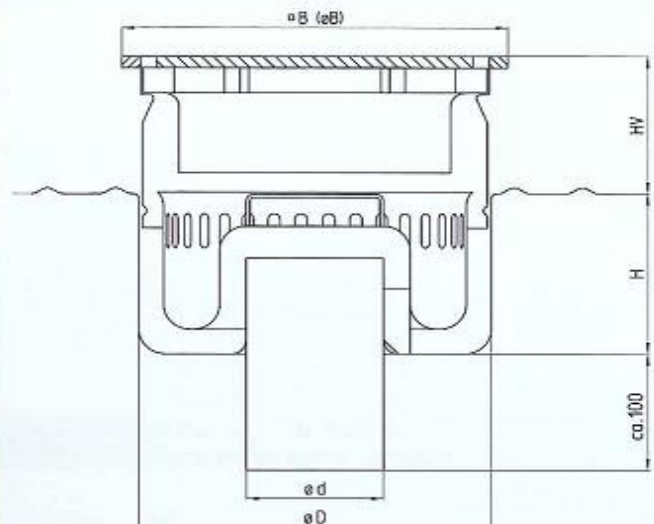
## タイプ:71-S (垂直排水)



モデル	□B(mm)	φB(mm)	φD(mm)	ゴミ受け容量(L)
71-070-E-S	310	-	243	> 3.5
71-070-RD-S	-	296	243	> 3.5
71-100-E-S	310	-	283	> 4
71-100-RD-S	-	296	283	> 4
71-150-E-S	390	-	356	> 6
71-150-RD-S	-	369	356	> 6
71-200-E-S	520	-	483	> 12
71-200-RD-S	-	499	483	> 12

\* エアトラップとゴミ受けが一体の集水柵です。φd(配管径), H(柵深さ):ご要望に対応可能です。

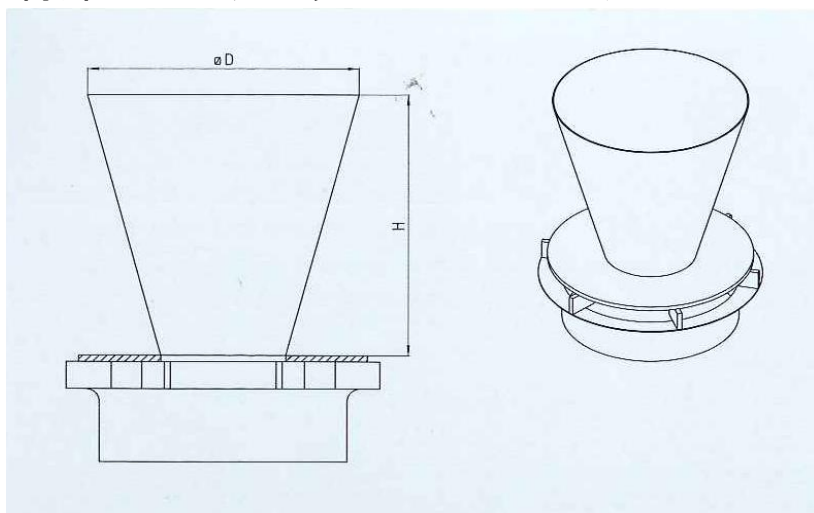
## タイプ:79-S (垂直排水・接着フランジ付)



モデル	□B(mm)	φB(mm)	φD(mm)	HV(mm)	ゴミ受け容量(L)
79-070-E-S	310	-	243	40-120	> 2.2
79-070-RD-S	-	296	243	40-120	> 2.2
79-100-E-S	310	-	283	40-120	> 4.2
79-100-RD-S	-	299	283	40-120	> 4.2
79-150-E-S	390	-	361	40-120	> 5.6
79-150-RD-S	-	372	361	40-120	> 5.6

\* エアトラップとゴミ受けが一体の集水柵です。φd(配管径), H(柵深さ):ご要望に対応可能です。

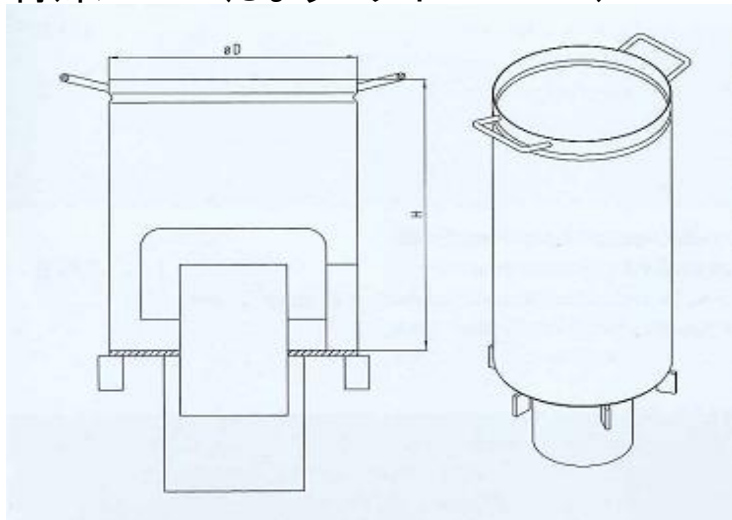
## 特殊カバー(じょうごタイプ:TRKG)



機械排水と床排水を同時に処理できる  
円錐形のじょうご型カバーです。  
比較的少量の機械排水用に適しています。

モデル	適合する集水柵	$\phi D$ (mm)	H(mm)	流量 (ℓ)
T-71-070-TRK	71-070-E-S	242	250	max. 1.5
	71-070-RD-S			
T-71-100-TRK	71-100-E-S	242	250	max. 2.8
	71-100-RD-S			
T-71-150-TRK	71-150-E-S	315	300	max. 8.2
	71-150-RD-S			
T-71-200-TRK	71-200-E-S	390	350	max. 12.5
	71-200-RD-S			
T-DRS-070-TRK	DRS-070-E-S	242	250	max. 1.5
	DRS-070-RD-S			
T-DRS-100-TRK	DRS-100-E-S	242	250	max. 2.8
	DRS-100-RD-S			
T-DRS-150-TRK	DRS-150-E-S	315	300	max. 8.2
	DRS-150-RD-S			
T-DRS-200-TRK	DRS-200-E-S	390	350	max. 12.5
	DRS-200-RD-S			

## 特殊カバー(じょうごタイプ:TRZN)

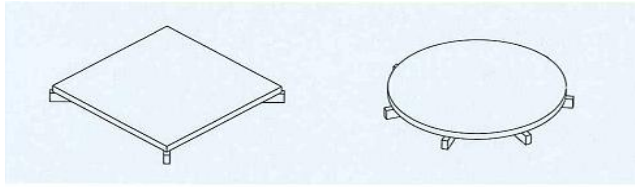


大量の機械排水と床排水を同時に処理できる  
じょうご型カバーです。



モデル	適合する集水桝	φD(mm)	H(mm)	流量(ℓ)
T-71-100-TRZ	71-100-E-S	257	500	max. 10
	71-100-RD-S			
T-71-150-TRZ	71-150-E-S	334	500	max. 15
	71-150-RD-S			
T-71-200-TRZ	71-200-E-S	453	500	max. 28
	71-200-RD-S			
T-71-250-TRZ	71-250-E-S	553	500	max. 45
	71-250-RD-S			
T-DRS-100-TRZ	DRS-100-E-S	257	500	max. 10
	DRS-100-RD-S			
T-DRS-150-TRZ	DRS-150-E-S	334	500	max. 15
	DRS-150-RD-S			
T-DRS-200-TRZ	DRS-200-E-S	453	500	max. 28
	DRS-200-RD-S			

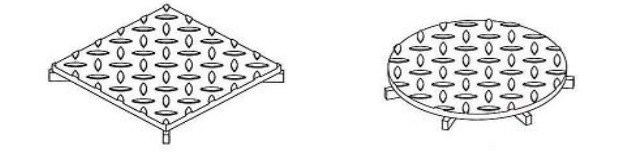
## カバーの種類



**平板カバー** 耐荷重: 12.5t

厚さ: 10mm

裏面に補強支柱を溶接しており、フォークリフト走行にも耐える。

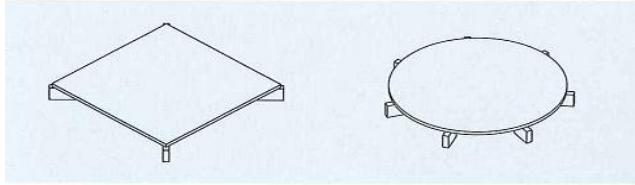


**防滑カバー** 耐荷重: 12.5t

厚さ: 10mm

裏面に補強支柱を溶接しており、フォークリフト走行にも耐える。

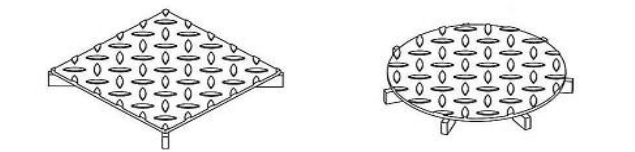
表面に凹凸の滑り止め加工あり。



**平板カバー** 耐荷重: 1.5t

厚さ: 5mm

裏面に補強支柱を溶接しており、比較的軽荷重に耐える。

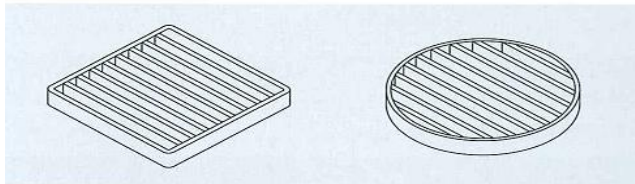


**防滑カバー** 耐荷重: 1.5t

厚さ: 5mm

裏面に補強支柱を溶接しており、比較的軽荷重に耐える。

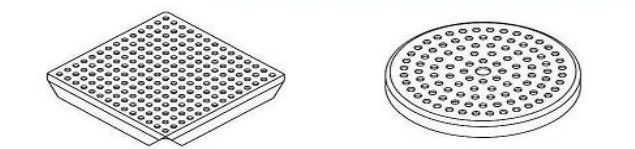
表面に凹凸の滑り止め加工あり。



**バーグレーチング(縦格子タイプ)** 耐荷重: 12.5t

バーの厚み8mm、バー間隔 18mm。

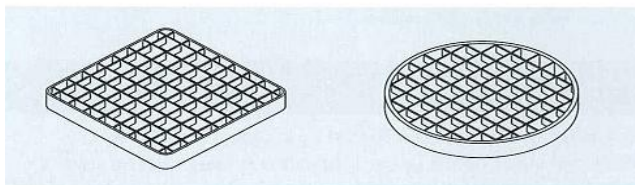
フォークリフト走行にも耐える。



**パンチングカバー** 耐荷重: 0.3t

板厚: 3mm

プール・浴室など、素足で歩く場所に適する。



**グレーチング(格子タイプ)** 耐荷重: 1.5t

格子サイズ 25×25mm、バーの厚みは2mm,3mm,4mmで対応可能。

防滑仕様もある。

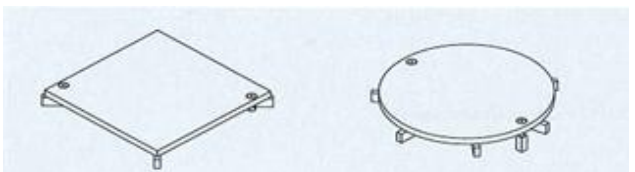


**シーリングリング付 平板カバー**

密閉状態が要求される場合に適したタイプ。

Oリングガスケットもしくはシリコンシールを使用。

厳しい防水性や防臭性が求められる条件に適する。



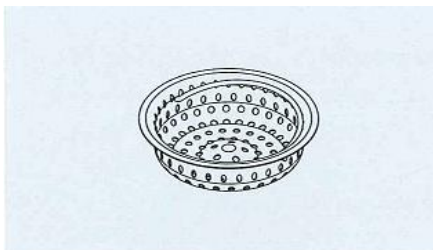
**ネジ止め付カバー**

プレートカバー、グレーチング(バータイプ、格子タイプ)に取り付けることが可能。

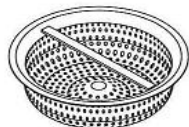
無許可の取り外しが許容されない場合に適する。



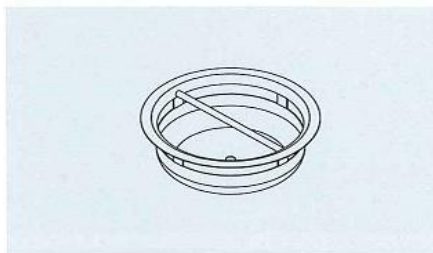
## ゴミ受けの種類



**パンチング(A)**  
DRSシリーズとHシリーズに標準的なゴミ受け。  
パンチングは約φ10mm



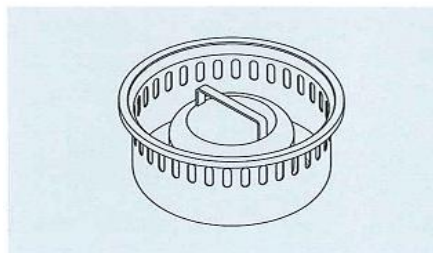
**パンチング(B)**  
φ6mm以下のパンチング。最小径φ4mm



**排水用スリット付**  
底部分に穴がないため、泥や砂などが受けに残り、  
排水管への流れ込みを防ぐことができる。

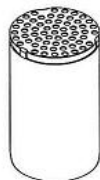


**浅型パンチング**  
標準的なゴミ受けが使用できない浅い排水柵に適する。



**エアトラップ(ワン)付**  
エアトラップ(ワン)と一体型。  
ゴミ受けの容積はかなり大きい。側面の穴の形状は標準品は縦長だが、  
ご要望に応じた形状が対応可能。

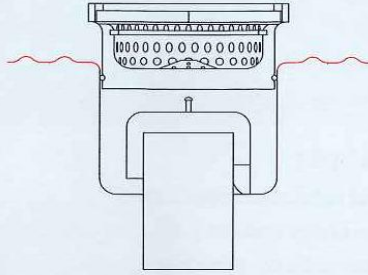
**SBV**  
**SBS**  
**SBE**



**目皿**  
排水柵の排水管に直接取り付けるタイプ。  
ボルト留めタイプ、プラグインタイプ(着脱が比較的容易)、溶接タイプがある。  
SBV : ボルト留めタイプ、  
SBS : プラグインタイプ(シーリングリング付)  
SBE : 溶接タイプ

# フランジの種類

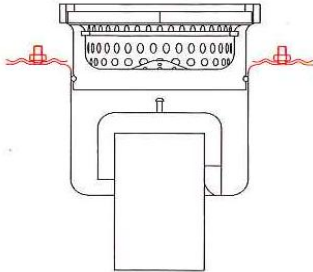
KBF



## 接着フランジ

上・下二体型の柵の下部の縁周囲に円板(板厚 1.5mm、幅 100mm)を溶接している。  
遮水シートを接着させることができる。  
波状なので遮水シートを接着しやすい。  
上部と下部の間に若干の隙間があり、遮水シート上の水分が排水される。

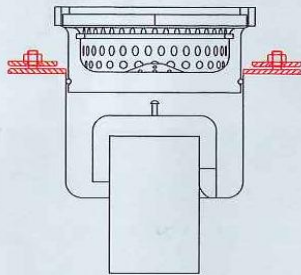
KMF



## 挟み込みフランジ

上・下二体型の柵の下部の縁周囲に円板(板厚 1.5mm、幅 70mm)を溶接している。  
遮水シートを載せ、その上から同型の円板(板厚 1.5mm、幅 60mm)を載せることにより遮水シートを挟み込むことができる。波状なので遮水シートを挟み込みやすい。  
上部と下部の間に若干の隙間があり、遮水シート上の水分が排水される。

FDI



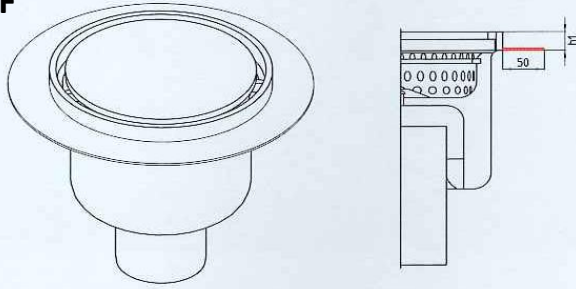
## ドイツ規格 DIN 18195 T9 に準じた 挟み込みフランジ

建築用シーリング材に関するドイツ規格 DIN 18195 T9 に準じた挟み込みフランジ

上・下二体型の柵の下部の縁周囲に円板(板厚 6mm、幅 70mm)を溶接している。  
遮水シートを載せ、その上から同型の円板(板厚 6mm、幅 60mm)を載せることにより 遮水シートを挟み込むことができる。



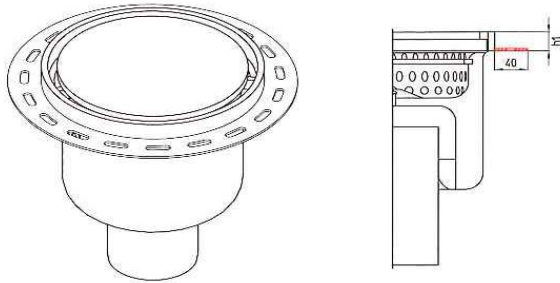
HF



### 接合フランジ

柵の縁部近くにつく平板のもの。(標準幅 50mm)  
塗床剤やタイルで仕上げる場合、モルタルや塗床材との接合部が増えるため、剥離・亀裂がおこりにくい。  
一体型、上・下二体型、縁部形状円形、角型  
それぞれに対応。

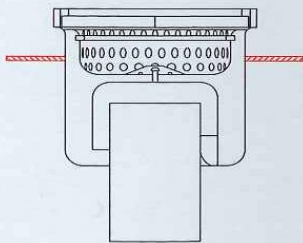
AF



### 穴あき接合フランジ

柵の縁部近くにつく。(標準幅 40mm)  
塗床剤やタイルで仕上げる場合、モルタルや塗床材との接合部が増えるため、剥離・亀裂がおこりにくい。  
穴があることにより、接合フランジより更に接合性がよくなる。  
一体型、上・下二体型、縁部形状円形、角型  
それぞれに対応。

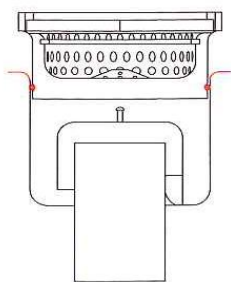
TGF



### サポートフランジ

重荷重対応のフランジ。  
柵本体の径より一回り大きい穴を床に開け 柵を設置した場合、このフランジが支えになるため重荷重にも耐えうる。  
6.0mm～10.0mmの厚みで対応可能。

AR



### アタッチメントエッジ

排水柵が上・下に分かれ、上部にレベル調整用ネジがついているため、レベルの微調整が可能。  
上部と下部の間にはシーリングリングを噛まして使用するため、コンクリート等が入り込むことはない。



## エアトラップの種類

GV



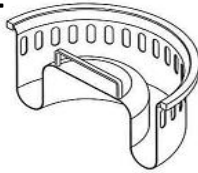
### エアトラップ（ベル型）

容易に取り外し可能。

排水管内の排水から発生するガス(汚臭)の室内侵入を防ぎます。

摘要樹: DR, DRS, H シリーズ

GV/SF



### ゴミ受け一体型エアトラップ

容易に取り外し可能。

ゴミ受けの穴の形状は正円～縦長円など、ご要望に対応可能。

摘要樹: 71 シリーズ

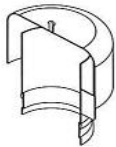
GVV



### エアトラップ（ベル型、ネジ留めタイプ）

ネジ止めにより、無断での取り外しを防ぐことができます。

GVS



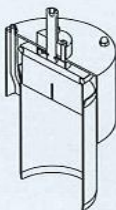
### プラグイン エアトラップ

配管の一部とエアトラップが一体となったエアトラップ。

シーリングリングが取り付けられており、着脱可能。

エアトラップを取り外すと水封内の排水が流出するので、枳内の清掃が容易。

AS

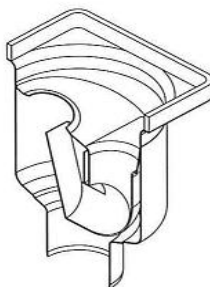


### エアトラップ（ロック可能タイプ）

生産エリアの排水管への危険物質、有害物質の流入事故を防ぐ

50,000Paまで逆流の防止が可能。(ドイツの規格により認定されている。)

OPTI



### オプティ エアトラップ（目視可能タイプ）

U字型のエアトラップへの残排水量が少量(約0.9ℓ)にとどまる。

点検口があり、枳の内部～配管内の点検が可能。

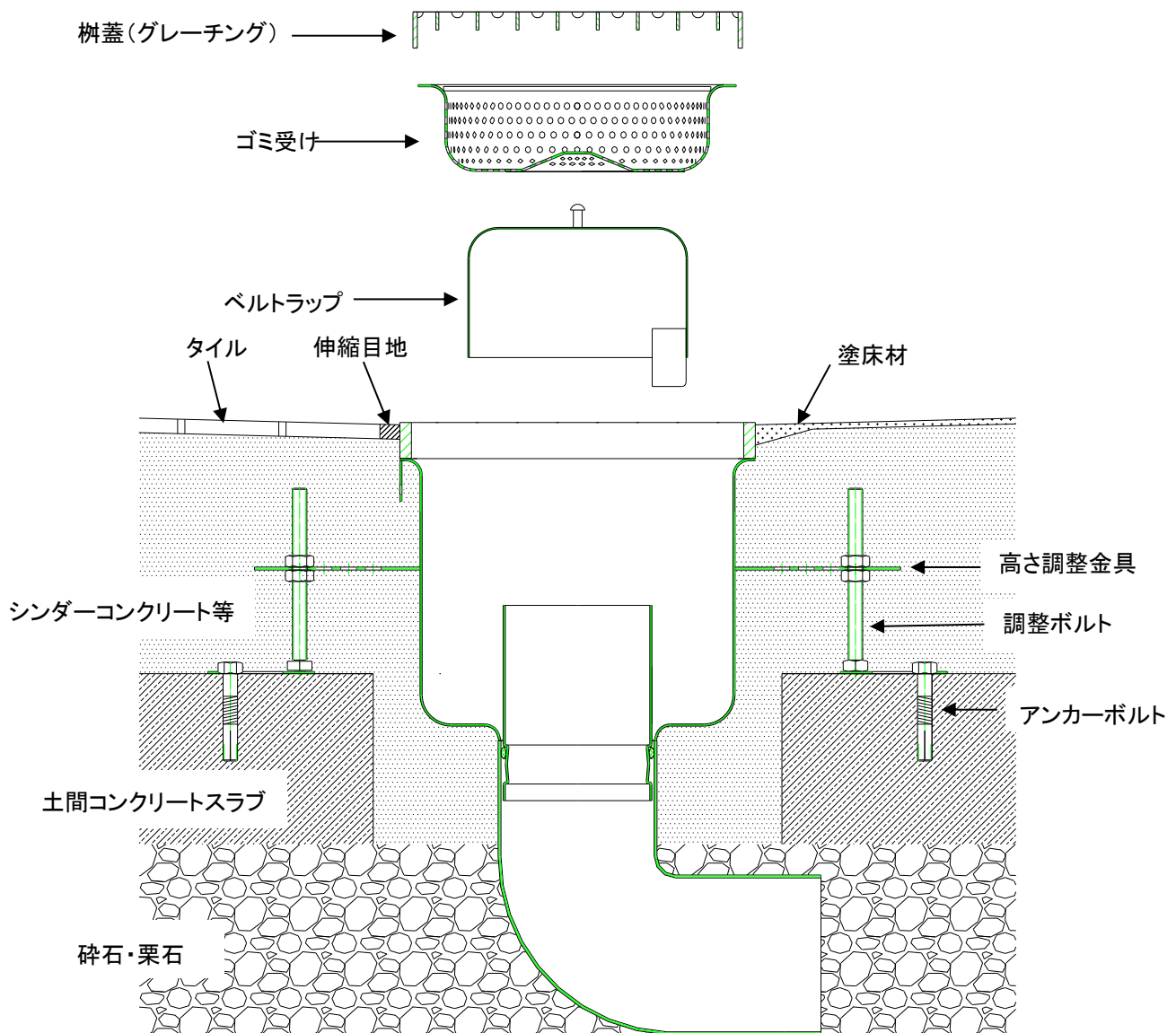
摘要樹: DRS-OPTI, H-OPTI シリーズ

## 排水枡(一体型)の取り付け(地中埋設配管の場合)(概要)

1. 排水枡の取り付け予定部に排水管を立上げ、型枠等で土間コンクリートに開口を設け、排水枡高さを合わせ地中埋設配管に接続する。枡の排水管は、地中排水管(場合によっては接続部品)の内側になるように、挿入してください。
2. 必要に応じ高さ調整金具を使って排水枡の位置決めをし、枡とスラブ開口部の間にコンクリートを流し込む。その後、シンダーコンクリート等を流す。
3. 床表面の仕上げ工事を施工する。枡の縁の高さと塗床面あるいは伸縮目地の高さが均一になるように仕上げてください。
4. 塗床材で仕上げる場合は、枡の縁の下を囲むような塗り込み箇所を作ることをお勧めします。

### 床：タイルの場合

### 床：塗床材の場合



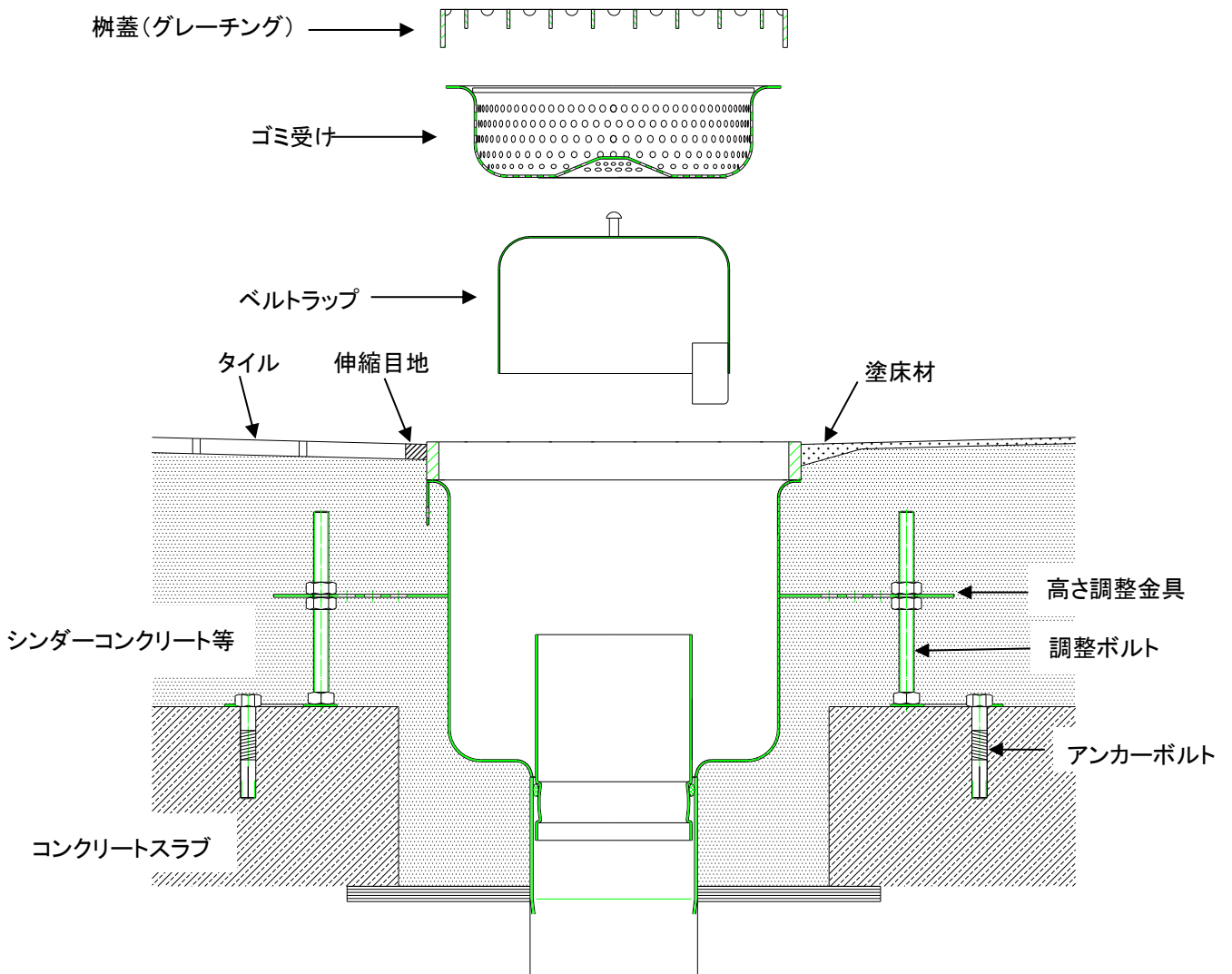
※ イメージ図

## 排水枴(一体型)の取り付け(スラブ下排水配管の場合)(概要)

1. 排水枴を取り付け予定の開口部に高さを合わせて枴を設置し、スラブ下排水管に接続する。枴の排水管は、排水管(場合によっては接続部品)の内側になるように、挿入してください。
2. 必要に応じ高さ調整金具を使って排水枴の位置決めをし、枴とスラブ開口部の間にコンクリートを流し込む。その後、シンダーコンクリート等を流す。
3. 床表面の仕上げ工事を施工する。枴の縁の高さと塗床面あるいは伸縮目地の高さが均一になるように仕上げてください。
4. 塗床材で仕上げる場合は、枴の縁の下を囲むような塗り込み箇所を作ることをお勧めします。

### 床：タイルの場合

### 床：塗床材の場合

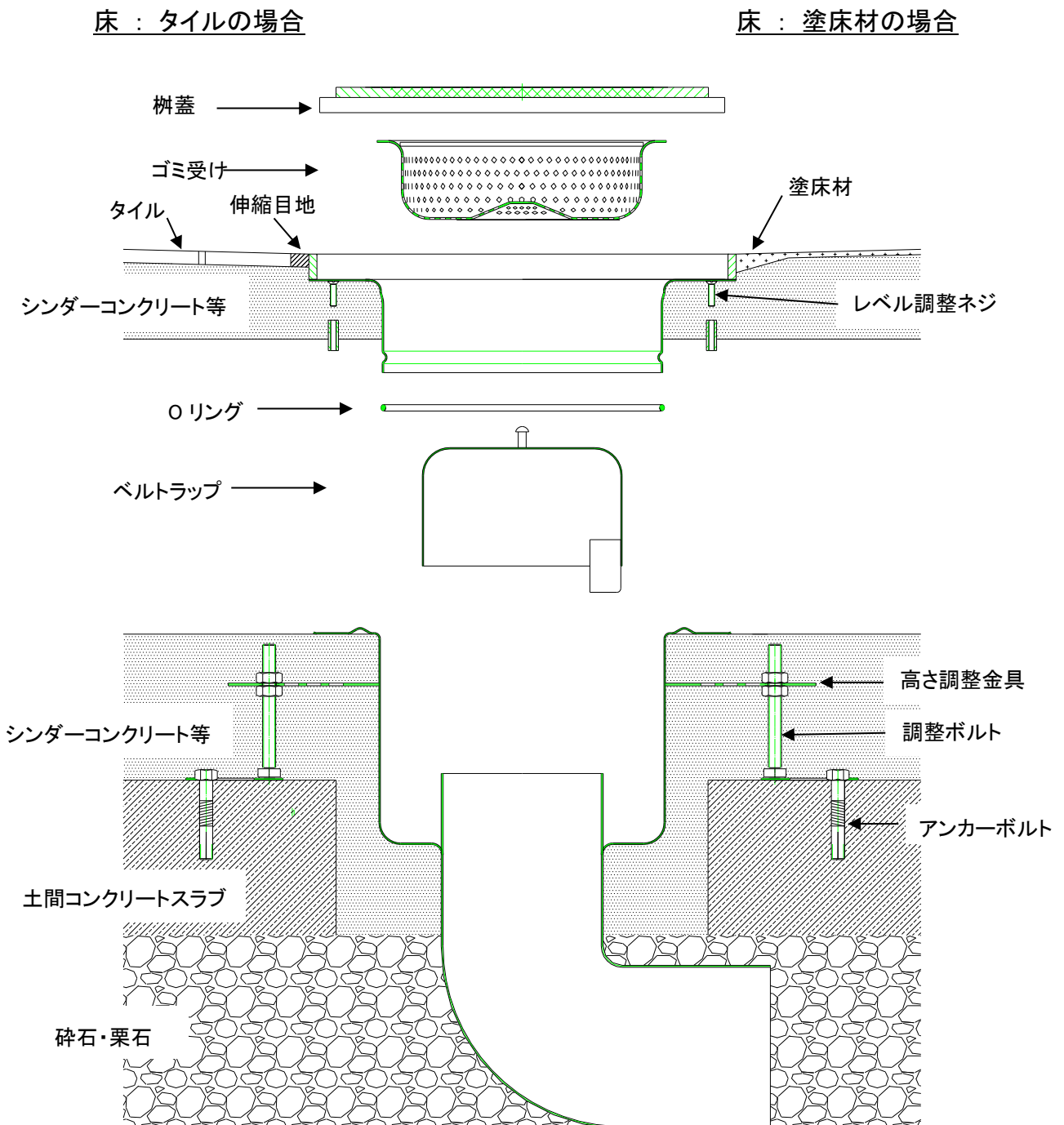


※ イメージ図



## 排水枡(二体型)の取り付け(地中埋設配管の場合) (概要)

1. 二体型の排水枡の下の部分を取り付け予定の開口部へ差し込む。
2. 必要に応じ、高さ調整金具を使って枡の下の部分の位置決めをする。
3. 枡の二体型の上部を下の部分にセットし、レベル調整用ネジを使って適切な高さや向きを決め(開口部の形状が四角い枡の場合は重要)、コンクリートを流し込む。  
 ※ 上部を下部に装着する前に上部の溝にOリングを取り付けてください。
4. 床表面の仕上げ工事を施工する。枡の縁の高さと塗床面あるいは伸縮目地の高さが均一になるように仕上げてください。塗床材で仕上げる場合は、枡の縁の下を囲むような塗り込み箇所を作ることをお勧めします。

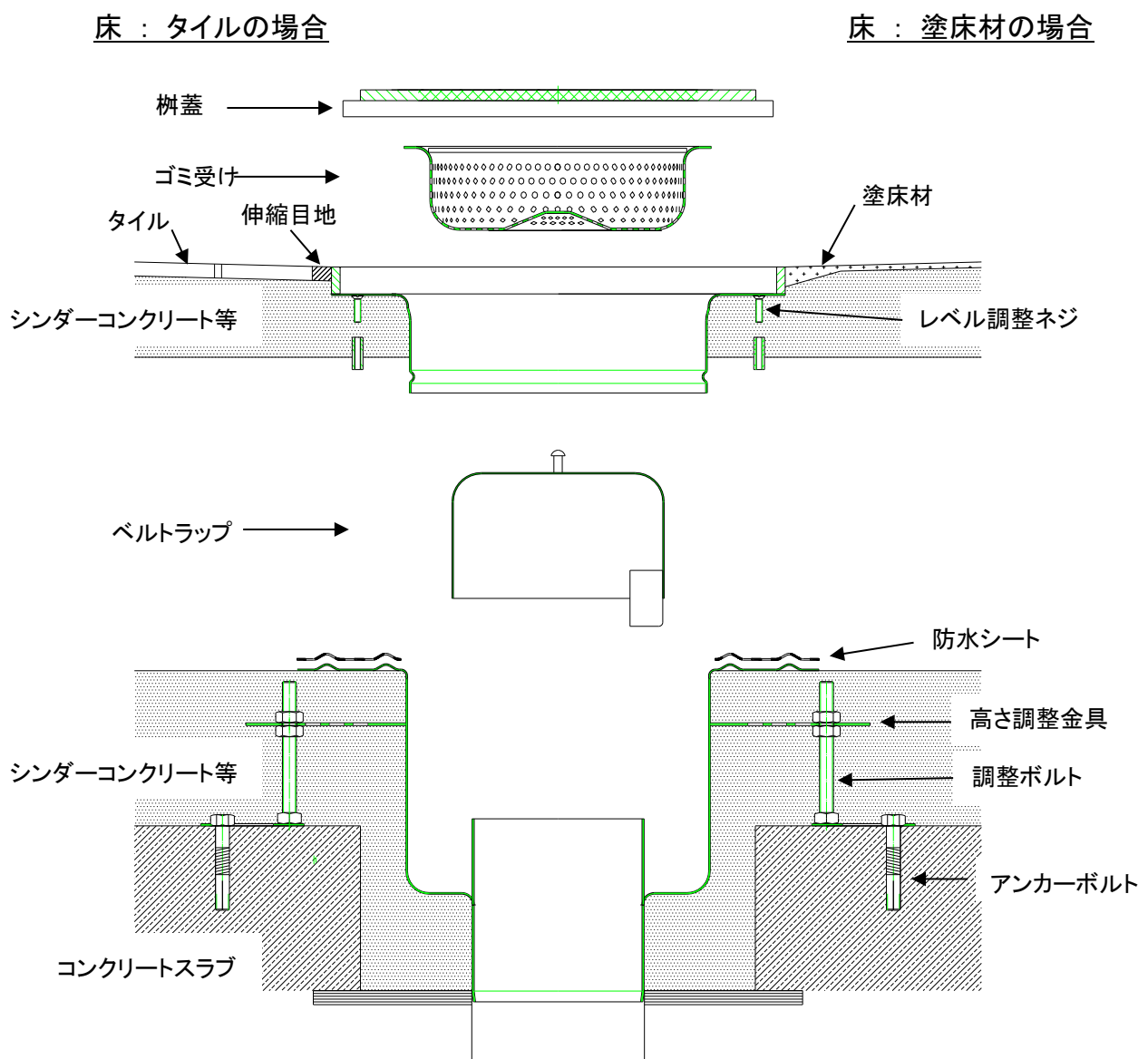


※ イメージ図

## 防水シート対応型(スラブ下で排水配管を施工する場合) (概要)

### (二体型排水柵(接着フランジ付)を使用する場合)

1. 二体型の排水柵の下の部分を取り付け予定の開口部へ差し込む。
2. 必要に応じ、高さ調整金具を使って柵の下の部分の位置決めをする。
3. 防水シートの使用説明書に従い、フランジにシール材を塗布して防水シートを取り付ける。
4. 柵の二体型の上部を下の部分にセットし、レベル調整用ネジを使って適切な高さや向きを決め(開口部の形状が四角い柵の場合は重要)、コンクリートを流し込む。
5. 床表面の仕上げ工事を施工する。柵の縁の高さと塗床面あるいは伸縮目地の高さが均一になるように仕上げてください。塗床材で仕上げる場合は、柵の縁の下を囲むような塗り込み箇所を作ることをお勧めします。



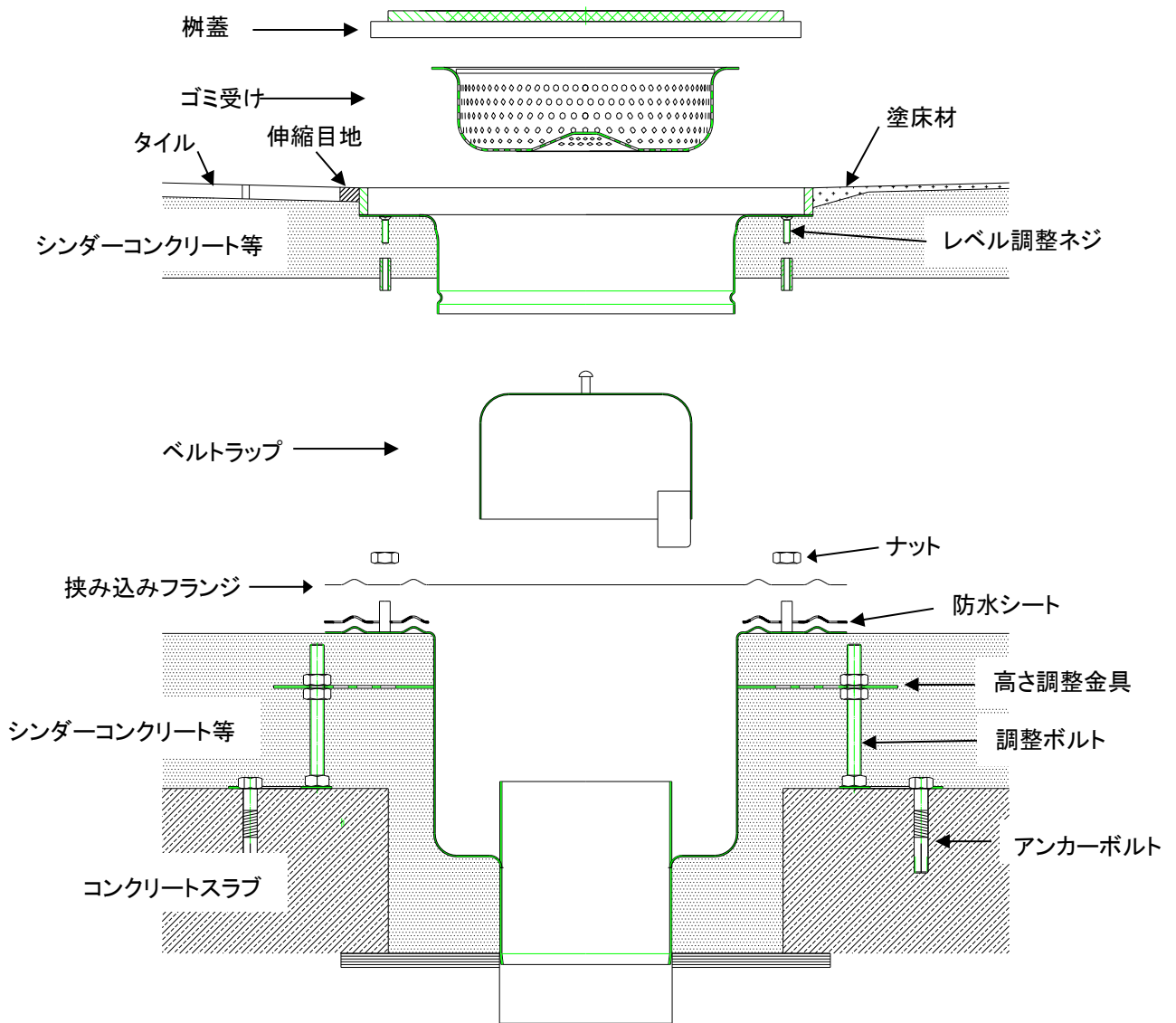
※ イメージ図

**防水シート対応型(スラブ下で排水配管を施工する場合) (概要)**  
**(二体型排水柵(挟み込みフランジ付)を使用する場合)**

1. 二体型の排水柵の下の部分を取り付け予定の開口部へ差し込む。
2. 必要に応じ、高さ調整金具を使って柵の下の部分の位置決めをする。
3. 防水シートの使用説明書に従い、フランジにシーリング材を塗布し、防水シートを取り付ける。  
挟み込みフランジを取り付け、ナットを締めつける。その際、締め付けすぎないように注意してください。
4. 柵の二体型の上部を下の部分にセットし、レベル調整用ネジを使って適切な高さや向きを決め(開口部の形状が四角い柵の場合は重要)、コンクリートを流し込む。
5. 床表面の仕上げ工事を施工する。柵の縁の高さと塗床面あるいは伸縮目地の高さが均一になるように仕上げてください。塗床材で仕上げる場合は、柵の縁の下を囲むような塗り込み箇所を作ることをお勧めします。

床 : タイルの場合

床 : 塗床材の場合



※ イメージ図